

2018年3月1日

# 2017年の回顧と2018年の展望

いま求められる新たな視点は



**繊維部会**  
ユニチカブラジル  
豊田明生

原料(綿花)

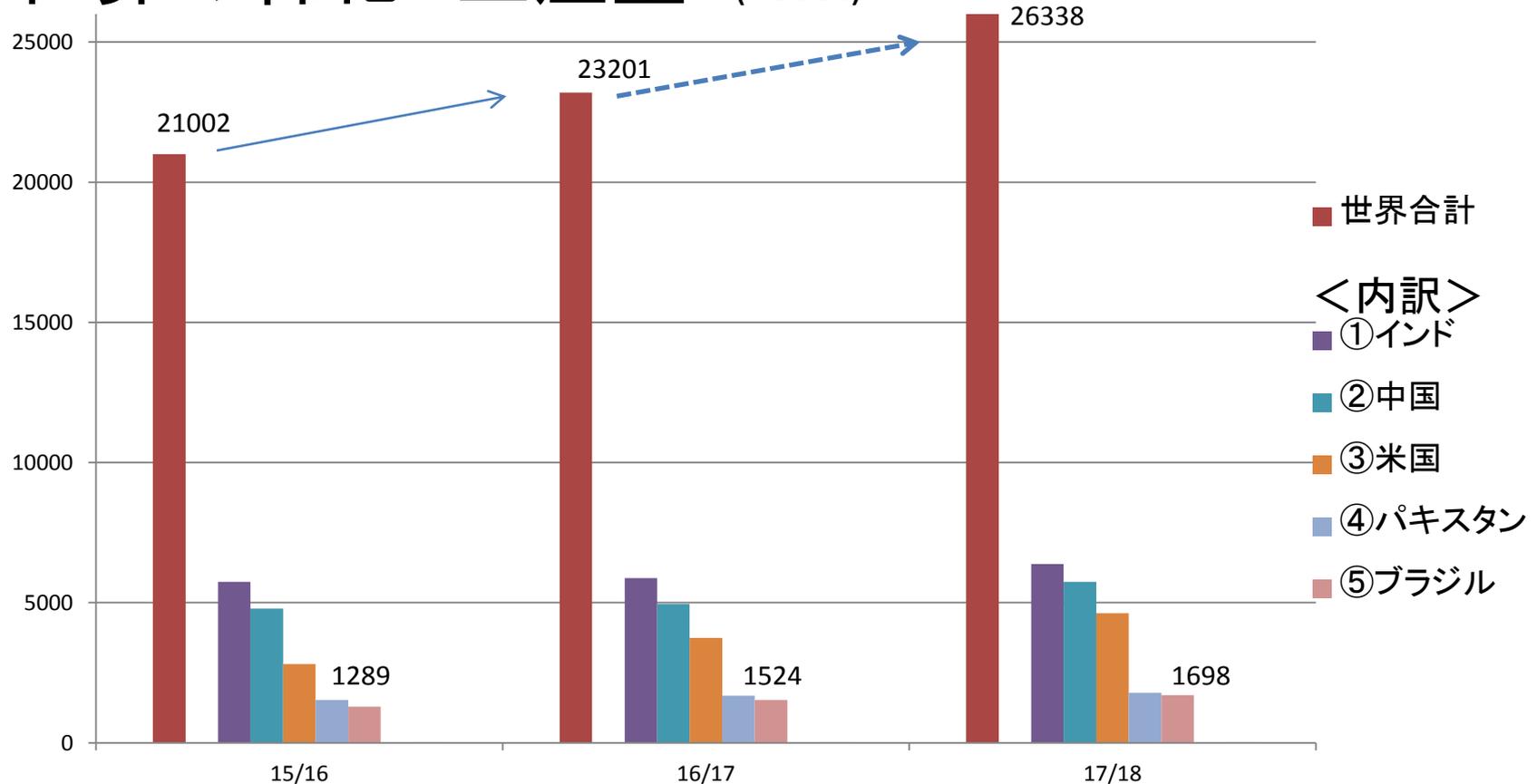


ブラジル マットグロソ州

# 2018/3 繊維部会

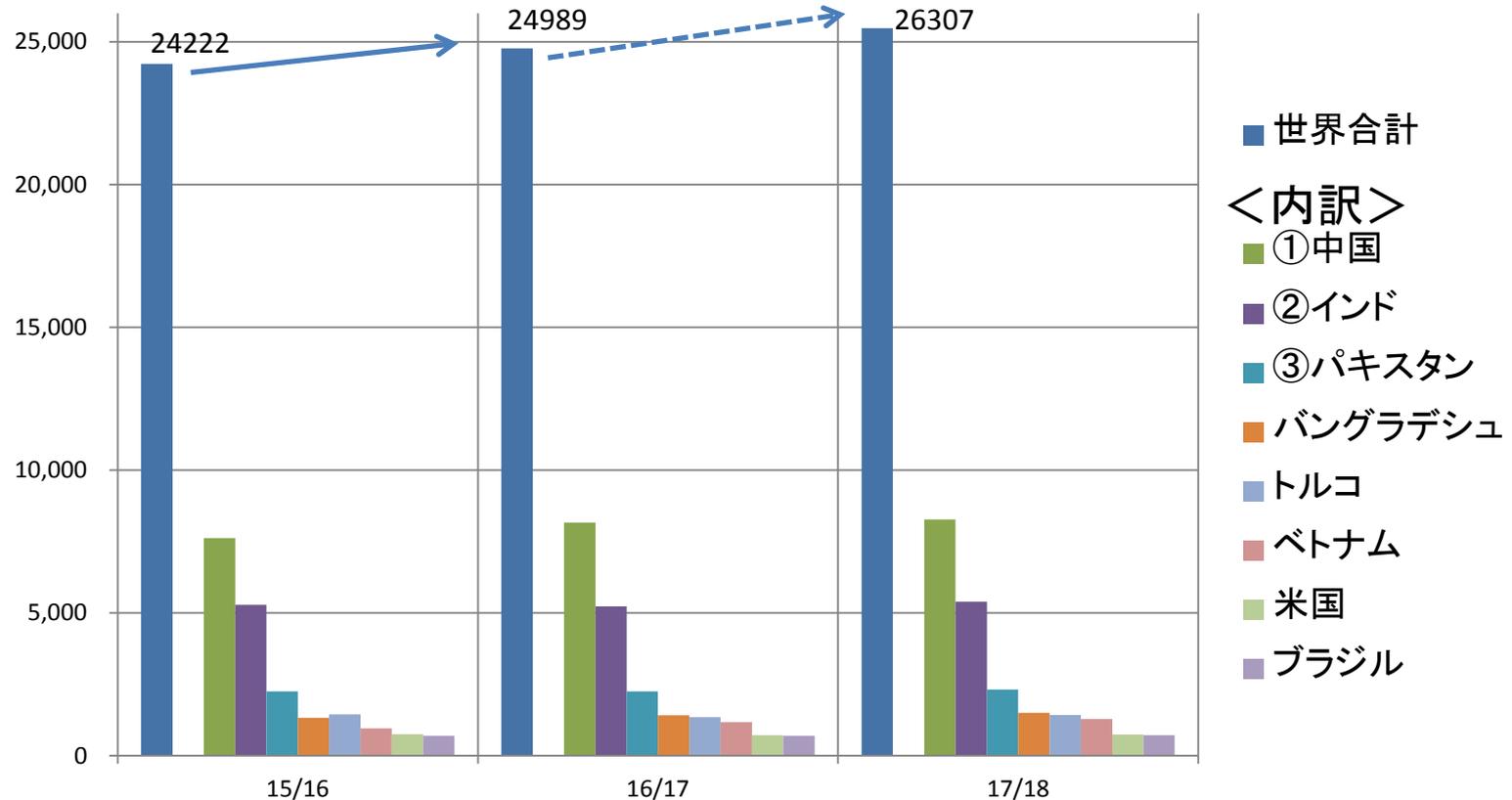


# 世界の綿花 生産量 (1000t)



綿花生産①インド②中国③米国④パキスタン⑤ブラジル  
順位は不動。全て安定的に増加中。

## 世界の綿花消費量≒糸生産量 (1000t)

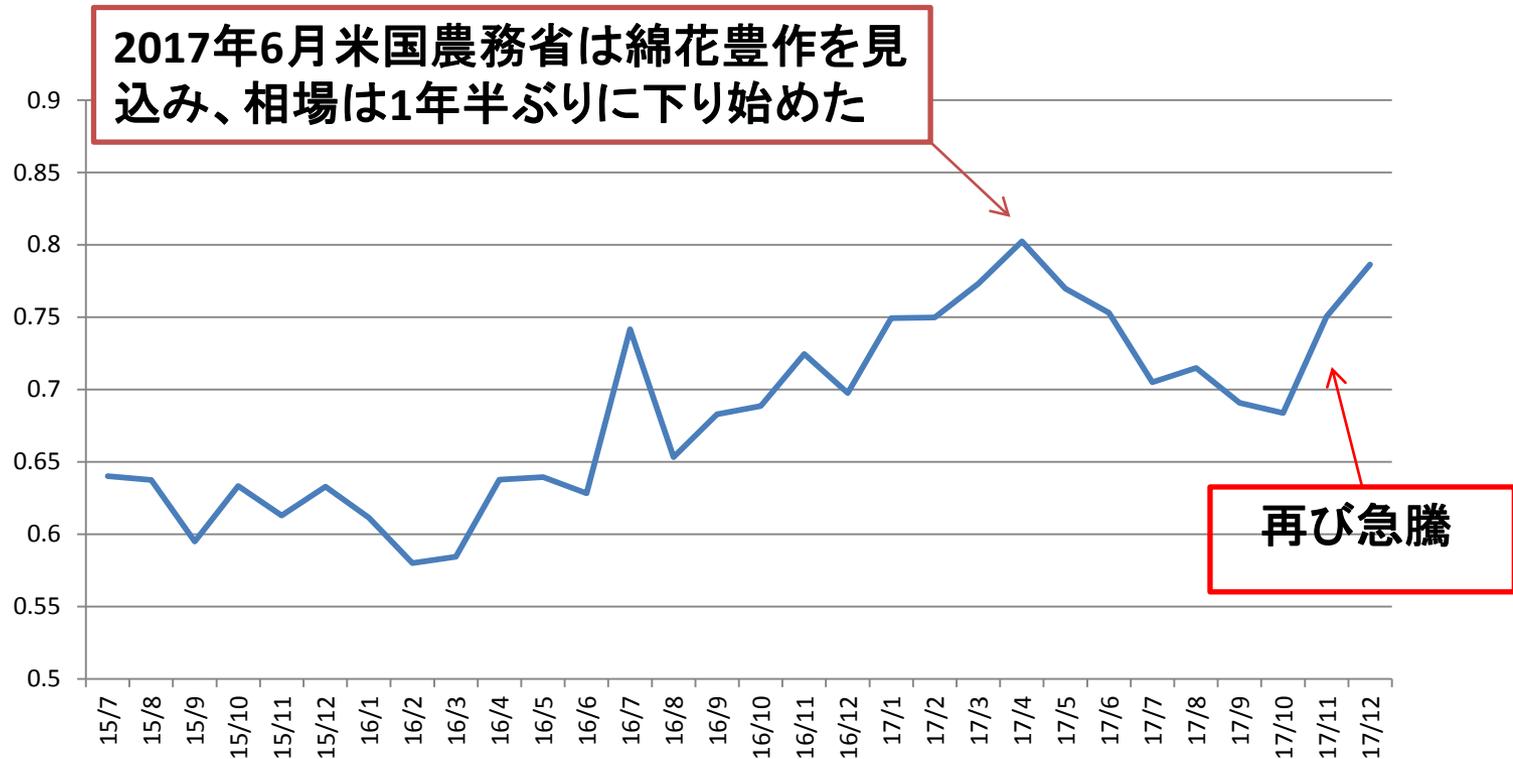


①中国②インド③パキスタン。

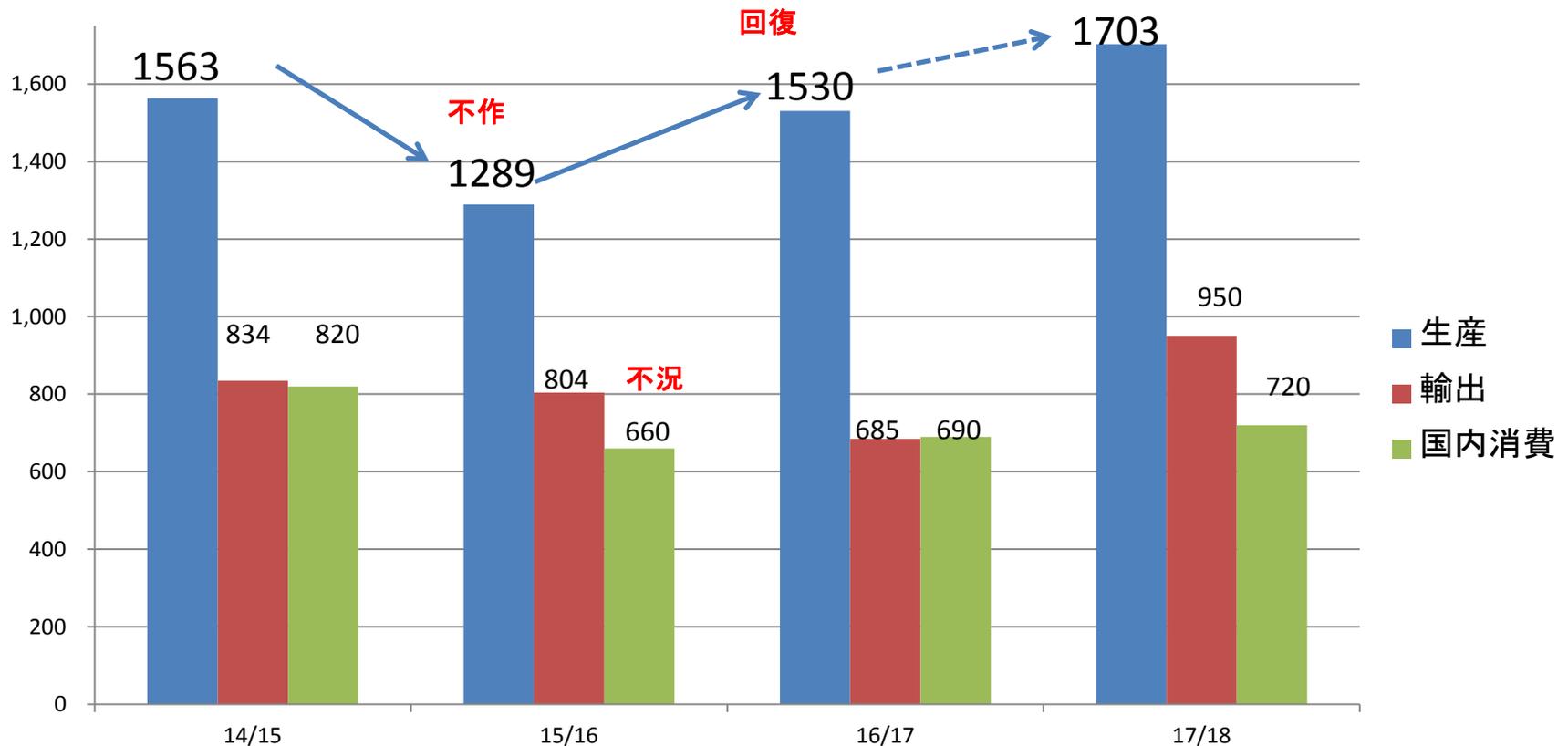
綿花生産のないバングラデッシュ、ベトナムが近年急増。(繊維加工基地化)

# 2018/3 繊維部会

＜NY定期相場＞17下に下降も18年始に再上昇(US\$/Lb)

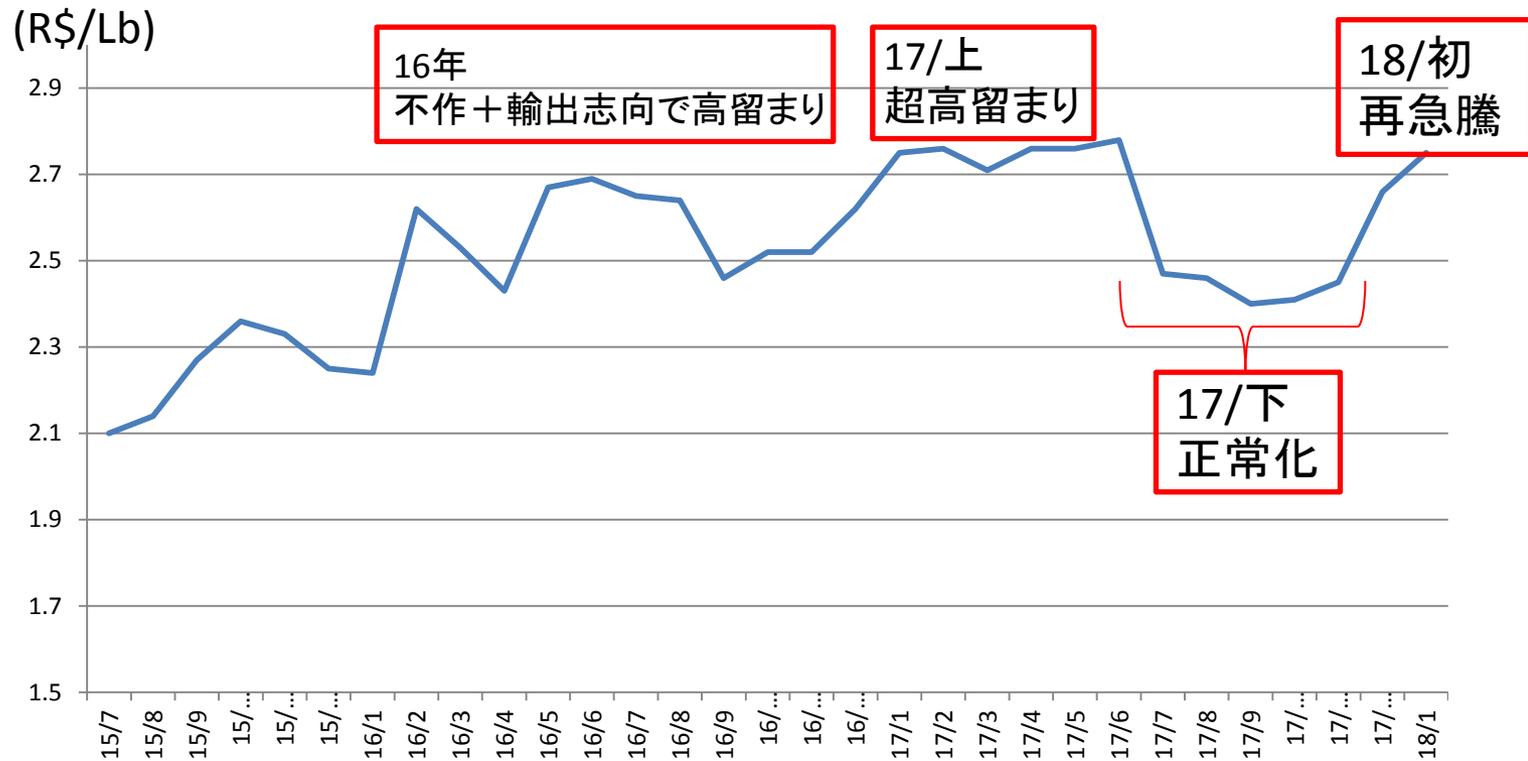


## ＜ブラジル国内＞綿花の生産・輸出・国内消費(1000t)



2016天候不順で不作生産減少、不況で消費も低迷。  
2017から生産回復も国内消費は微増に留まる。2018輸出は増加見込。

# ブラジル国内原綿価格相場推移

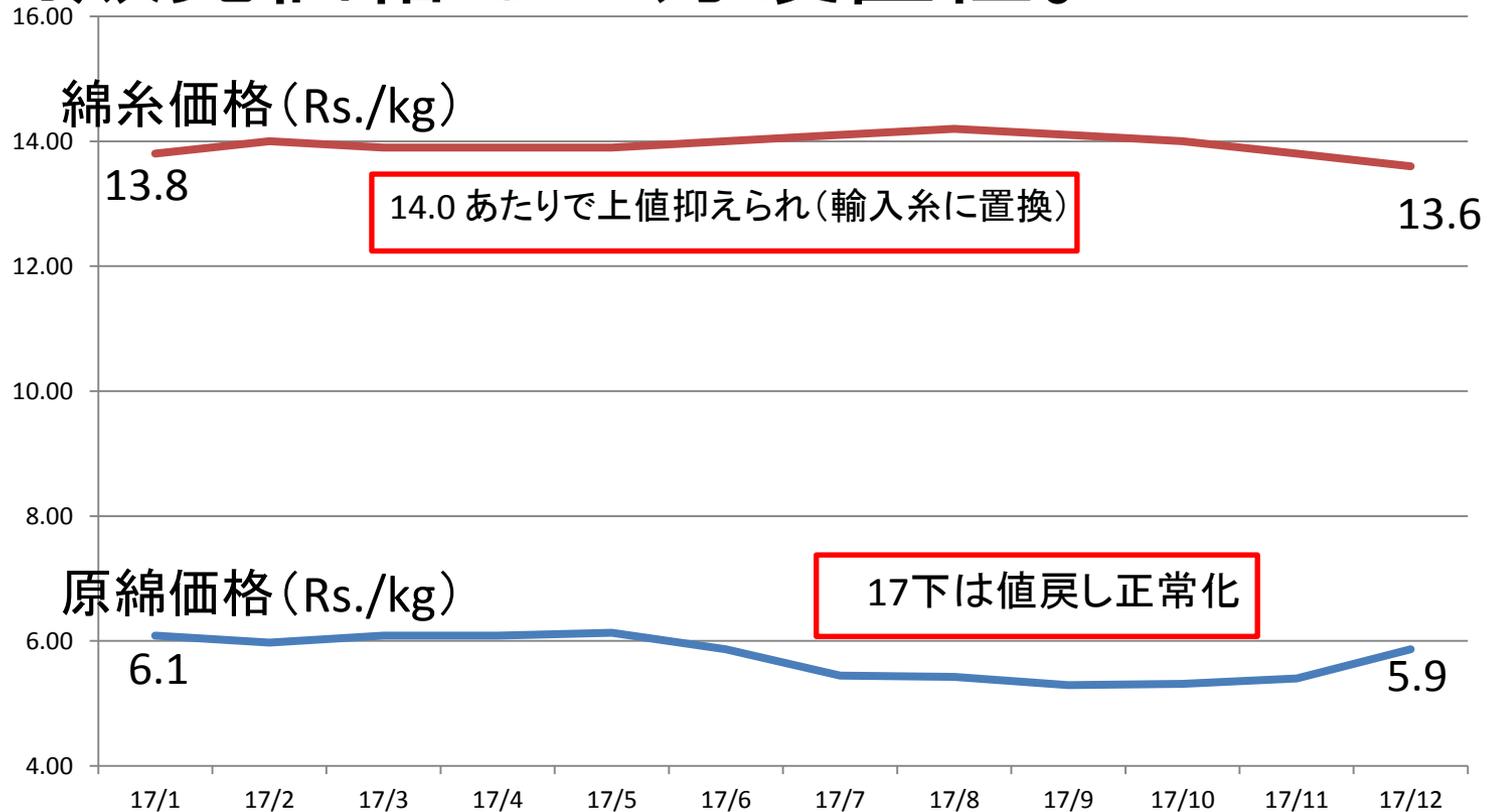


16年不作及び輸出志向で国内供給不足・高留まり～17/6月。  
 17/7月から1年半ぶりに適正化なるも18/始再急騰。

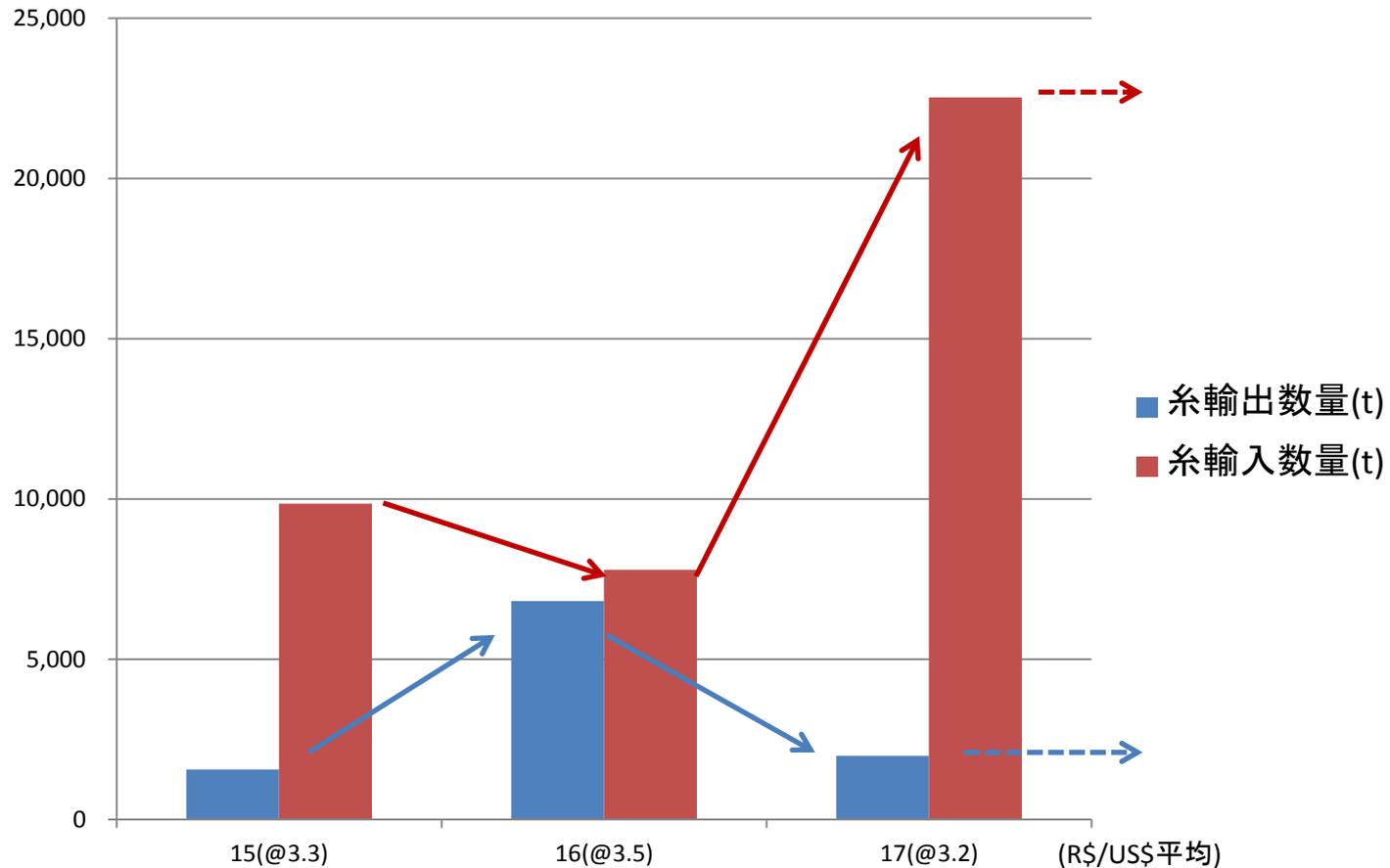
製品(綿糸)



# 国内販売価格は上方硬直性。



# 綿糸輸入は17に前年比3倍に急増。

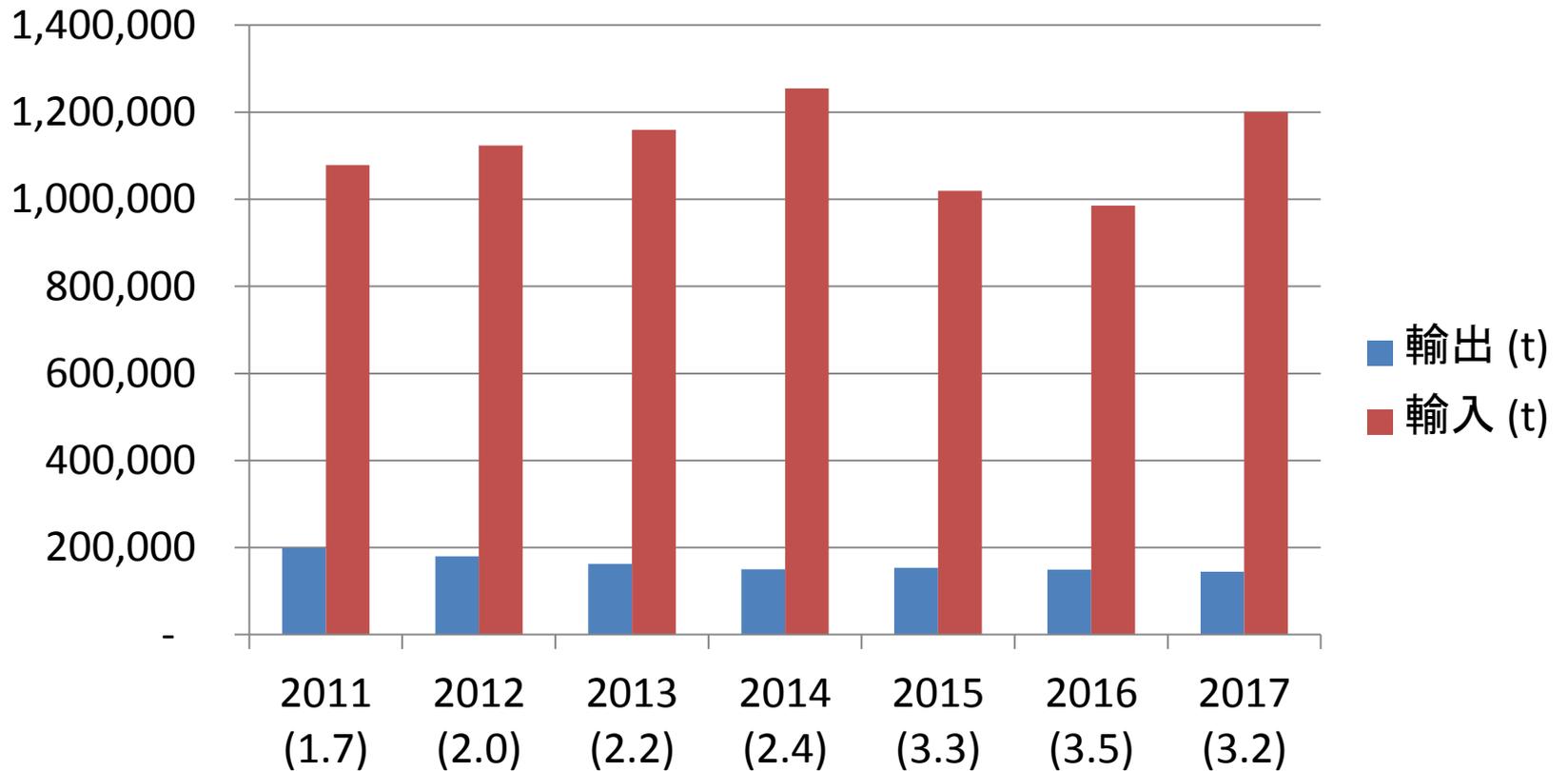


16年はレアル安で、輸出増、輸入減。17年はレアル高で反動。

製品(生地・衣料品・用品)



# 繊維製品輸入は不況前水準に回復



## ブラジル繊維産業

- ① 原料(綿花)を国内で調達でき、
- ② 産業全段階を国内に備え、  
(繊維産業150万人は資源転換業態中では食品・飲料に次ぐ規模)
- ③ 2億人消費市場を持つ



### 恵まれた経済構造

よって1955～日系紡績の進出(60年余の歴史あり)

原料を輸出し＋最終製品を輸入するトレンドが進む。

< 繊維産業の構造的特徴 >

→ ブラジルコスト負担の大きい「労働集約型」  
共通職種3K労働多く、訴訟費用大きい  
労働法・社会保険は改善方向だが遅い。時間かかる

< 業界、市場の動き >

→ 負担大きい自家生産より最終製品での輸入

< 労働者の思惑 >

→ 地道に働くより安易な所得。保護政策の悪用。  
(労働訴訟、社会保険、補助金への依存)

- 市場回復による販売増を期待
- 早期の制度改革を願う
- 可能な自助努力を続ける

# いま求められる新たな視点は

- ・高機能製品での市場開拓
- ・差別化志向顧客と連携し品質改善、付加価値品を開発
- ・輸入対抗として、国産原綿地産地消をアピール国産品購買キャンペーン
- ・環境配慮型綿素材キャンペーン(Better Cotton Initiative)への参画
- ・信頼できる現地パートナーの探索
- ・日系の強みである、顧客フォロー、正確なデリバリー、品質安定
- ・ブラジル法制に対応する体制構築
- ・継続的コスト削減

# 2018/3 繊維部会



ユニチカ2代目マスコットガール手塚さとみ 1975

# MUITO OBRIGADO